

りみられることである。

その外新聞の利用は昨年度あたりより引きつづいて多くなっているため、特に郷土関係の新聞の記事索引を作製して、閲覧者の便宜をはかることも考えねばならない。

2 レファレンス・サービス

従来2階西側のコーナーを参考室に当てていたが、部屋のスペースから自ら資料の数も制限され、職員配置の分散ということもあり、検討を加えた結果、2階カウンターの正面に配置することによって、資料、職員両面にわたって、運営がスムーズになった。各部門にわたっての参考図書を大幅に公開し、座席も28席設けて、自由に資料を利用してもらうことができ、集中された職員配置により、職員もそれぞれの分担業務と当番業務を円滑に行なうようになった。更に目録ケースを参考図書群とカウンターに隣接させることにより、サービスの円滑をはかりたい。

(表7)によってその処理された内容を見ると、件数は昨年度の2倍になっている。これは質問を子細に記録したことにもよるが、資料の充実とあいまって、その利用度が増加したものとみられる。特に新聞雑誌の質問、特定図書の有無に関するものが多いことは、参考事務についての認識が一般にゆきわたり、図書館に問えば解決がつくという考えからであろうが、図書館側としてはまだまだ資料の充実ということは程遠く年間購入冊数(館内)が2,000冊ということでは、我が国の年間出版点数の10%にすぎず、せめて県立図書館としてはそれらをすべて購入できる状態にならないと、いかに方法論を考えても、利用者が求めているものに対して満足を与えるということではできない。

表3 利用者数 昭和40.4～41.3

職業別	館内	館外	計	構成比%
児童	5,012		5,012	5.8
中学生	7,042		7,042	8.1
高校生	33,318		33,318	38.7
大学生	12,301	3,004	15,305	17.8
公務員	302	176	478	0.6
銀行・会社員	1,698	1,542	3,240	3.8
運輸通信	1,891	1,324	3,215	3.7
農業	465	763	1,228	1.4
商業	181	43	224	0.3
技術者	141	250	391	0.5
自由業	126	195	321	0.4
その他	277	155	432	0.5
主婦	10,148	487	10,635	12.3
無職	63	388	451	0.5
計	76,609	9,458	86,067	100

表4 月別利用者数 昭和40.4～41.3

月	学生生徒 児童	一般	計	一日平均(人)	開催日数(日)
40. 4	3,058	1,622	4,680	195	24
5	5,067	2,457	7,524	327	23
6	4,338	2,693	7,031	281	25
7	5,586	2,049	7,635	294	26
8	5,131	1,332	6,463	294	22
9	4,105	1,479	5,584	294	19
10	5,180	1,703	6,883	287	24
11	4,434	1,901	6,335	275	23
12	6,219	2,064	8,283	360	23
41. 1	5,243	2,312	7,555	360	21
2	7,767	3,149	10,916	475	23
3	4,549	2,621	7,170	287	25
計	60,677	25,392	86,069	310	278

表5 利用図書冊数

昭和40.4～41.3
(参考図書利用を除く)

N D C	館内	館外	計	構成比%
0 総記	3,458	243	3,701	8.4
1 哲学	794	448	1,242	2.8
2 歴史地誌	2,043	645	2,688	6.1
3 社会科学	2,832	1,433	4,265	9.7
4 自然科学	1,511	333	1,844	4.2
5 工学工業	1,109	315	1,424	3.2
6 産業	607	182	789	1.8
7 芸術	1,158	401	1,559	3.5
8 語学	786	176	962	2.2
9 文学	4,170	6,097	10,267	23.3
雑	2,887	103	2,990	6.8
洋	12	1	13	0.0
児童図書	12,393		12,393	28.0
計	33,760	10,377	44,137	100.0

表6 館外貸出登録者の構成

昭和40.4～41.3

職業別	男	女	計	構成比%
大学生	291	378	669	47.8
教員	36	9	45	3.2
公務員	131	27	158	11.3
銀行・会社員	119	93	212	15.1
運輸通信	28	2	30	2.1
農業	5	1	6	0.4
商業	14	2	16	1.1
工業・技術者	23	7	30	2.1
自由業	4		4	0.3
その他	37	111	148	10.6
主婦		33	33	2.4
無職	24	26	50	3.6
計	712	689	1,401	100.0
学生	291	378	669	
一般	421	311	732	

表7 処理された質問の内容構成

昭和40.4～41.3

分類別	口頭	電話	文書	計	構成比%
0 総記	183	9	2	194	6.2
1 哲学	29	2		31	1.0
2 歴史地誌	205	7	1	213	6.8
3 社会科学	344	26	1	371	11.9
4 自然科学	103	1		104	3.3
5 工学工業	69	1		70	2.2
6 産業	88	2		90	2.9
7 芸術	215	3		218	7.0
8 語学	75	1		76	2.4
9 文学	161	2	1	164	5.2
郷土資料	371	16	4	391	12.5
特定図書の有無	141	6		147	4.7
新聞雑誌の質問	467	18	1	486	15.5
	568	8		576	18.4
計	3,019	102	10	3,131	100.0

4 過去5カ年間の利用状況

表8 利用者数

利用者数	36	37	38	39	40
一般	22,398	25,829	26,962	25,420	25,390
学生生徒 (中、高、大)	99,115	91,035	91,075	77,755	55,665
児童	6,863	6,669	6,576	7,569	5,012
計	128,376	123,533	124,613	110,744	86,067